プログラミング基礎

http://bit.ly/prog2d

関数

前期 第2週 2017/4/17

【Point 1】関数の名前と引数などを先にプロトタイプ宣言しておく (p. 261)

```
1: #include <stdio.h>
2:
3: /* 関数のプロトタイプ宣言 */
4: int max(int a, int b);
5:
```

【Point 2】戻り値の型 max(仮引数1,仮引数2,...) の書式で書く (p. 218)

```
6: /* 大きい方の整数を求める関数 */
   int max(int a, int b) {
7:
       int result = 0;
8:
9:
       /* 比較した結果をresultへ代入する */
10:
11:
       if (a < b) {
12:
          result = b;
                         [Point 3]
13:
       } else {
                        returnで呼び出し元に値を返す
14:
          result = a;
15:
                        変数resultの型が、関数の戻り
16:
                         値の型と一致する必要がある
       /* 比較結果を返す */
17:
                        ・何も値を戻さない関数の場合、
18:
       return result;
                         戻り値の型はvoidとなり、
19: }
                         returnを省略できる
```

(p. 236)

【Point 4】仮引数aに5、仮引数bに10が代入される(p. 226~p.227)

```
20:
21:
    int main(void)
22:
23:
         int x, y, z;
24:
         /* 実引数に値を直接書く場合 */
25:
26:
           = \max(5, 10); \blacktriangleleft
         printf("max: %d\n", z);
27:
28:
【Point 6】 関数max()の戻り値が
```

zに代入される (p. 239)

【Point 5】関数実行後は、returnの後にくる値に置き換わる(この場合はresult代入された10に置き換わる)(p. 239 図8-11)

```
27:
       printf("max: %d\n", z);
28:
       /* 実引数に変数を使う場合 */
29:
30:
       printf("x > ");
                        【Point 7】実引数には変数も使える
31:
       scanf("%d", &x);
32:
       printf("y > ");
33:
       scanf("%d", &y);
34:
       z = max(x, y);
35:
       printf("max: %d\n", z);
36:
       /* 戻り値を代入せずにそのまま使う場合 */
37:
       printf("max: %d\n", max(20, 50));
38:
       printf("max: %d\n", max(x, y));
39:
40:
                   【Point 8】戻り値は変数に代入すること
41:
       return 0;
                  なく、呼び出しの記述をそのまま使うこと
42: }
                  もできる
```

【練習2-1】

サンプルプログラムをコンパイルして、 実行結果を確認しましょう。

【課題2-1】

関数max()を参考にして、引数で指定した2つの整数のうち小さい方を戻す関数min()を作成してください。

```
[この関数のプロトタイプ宣言]
int min(int a, int b);
/* max()の処理を参考に作ってみる */
```

```
[main()での処理]
  printf("min: %d\n", min(5, 10));
  printf("min: %d\n", min(20, 10));

[実行例]
  min: 5
  min: 10
```

【課題2-2】

3つの引数の値に対する平均値を求める関数 average()を作成してください。

```
[この関数のプロトタイプ宣言]
double average(double a, double b, double c);
/* 3つの引数の平均値を求め、この関数の戻り値とする */
```

```
[main()での処理]

printf("average: %lf\n", average(30, 20, 40));
printf("average: %lf\n", average(15, 8, 21));

[実行例]

average: 30.000000
average: 14.666667
```

【課題2-3】

引数で指定した範囲内の整数の合計を求める関数 sum_range()を作成してください。

```
[この関数のプロトタイプ宣言]
int sum_range(int s, int e);

/* sからeの合計を求める */
/* s <= e となることを前提にしてよい */
/* (つまり s > e の場合を考慮しなくてもよい) */
```

【課題2-3】

```
[main()での処理]
  printf("sum_range: %d\n", sum_range(3, 7));
  printf("sum_range: %d\n", sum_range(5, 10));

[実行例]
  sum_range: 25
  sum_range: 45
```

【課題2-4】

2つの整数を指定した演算方法で計算する関数 op_num()を作成してください。

```
[この関数のプロトタイプ宣言]
int op_num(int a, int b, char op);

/* aとbを、opで指定した文字に応じて次のように計算し、*/

/* その結果を戻り値とする */

/* ● opが '+' の場合、 加算する */

/* ● opが '-' の場合、 減算する */

/* ● opが '*' の場合、 乗算する */

/* ● opが '/' の場合、 除算する (整数値として計算してよい) */
```

【課題2-4】

```
[main()での処理]

printf("op_num: %d\n", op_num(8, 3, '+'));
printf("op_num: %d\n", op_num(6, 9, '*'));
printf("op_num: %d\n", op_num(8, 3, '/'));
printf("op_num: %d\n", op_num(2, 7, '-'));

[実行例]

op_num: 11
op_num: 54
op_num: 2
op_num: -5
```

まだ余裕のある人は… 【課題2-5】

2つの整数a, bの最大公約数を求める関数gcd()を作成してください。

最大公約数は、次のようなユークリッドの互除法を利用すると求めることができます。

- (1) aからbを割った余りtを求める
- (2) aにbを代入する
- (3) bにtを代入する
- (4) 上記の処理を、bがOになるまで繰り返す(bは必ずいつかOなる)
- (5) 繰り返し終了時、つまりbが0となった時のaの値が最大公約数

(参考Webサイト)

http://math-arithmetic.blogspot.jp/2011/01/blog-post.html

【課題2-5】

```
[この関数のプロトタイプ宣言]
int gcd(int a, int b);
/* 繰り返し処理によって、前述のユークリッドの互除法を作る */
```

```
[main()での処理]
  printf("gcd: %d\n", gcd(18, 12));
  printf("gcd: %d\n", gcd(221, 323));

[実行例]
  gcd: 6
  gcd: 17
```